

令和元年度

# 鳥山北小学校 校内研究

## 1年分科会 提案授業

教科:国語

10月18日(金)

授業者:池本 清史

### 1 研究主題

#### (1) 研究主題

「世田谷9年教育」研究開発 CM(カリキュラム・マネジメント)スクール

これからの社会を生き抜く児童の育成

～社会科を軸としたカリキュラムマネジメントを通して～

#### (2) 目指す児童像

自分と世の中をつなぐ子	自分と人をつなぐ子	考えとを考えをつなぐ子
世の中に目を向ける 未来の世の中を意識する 世の中で行動する	ペアで学ぶ グループで学ぶ 学級で学ぶ	自分の考えをもつ 考えとを考えをつなぐ 1つの考えを生み出す

### 2 協議会で話し合うこと

(1) 3人組での交流は、話す聞く力を伸ばすために効果的であったか。

(2) 話型の提示や、話す聞くに関する掲示物は、話す聞く力を伸ばすために、効果的であったか。

《画用紙》 分科会で話し合いながら書き、ホワイトボードへ！

青:成果／黄色:質問／ピンク:課題

第1学年 国語科

## 「ねえ、どっち？」(4時間)

1学年2組 26名

場所：1年2組教室

授業者：池本 清史

### 1 小単元の目標

課題について、自分の好きな方をどちらか選んで、自分なりの理由をつけてわかりやすく発表し、話し合う。

### 2 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現等	ウ 主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>身近な話題、題材について、自分の立場を決めて、その選んだ理由を分かりやすく相手に説明する。</li><li>相手に自分の考えを伝え、相手に分かつてもらうためには、その考え方の根拠が必要であることを知る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>立場や考えの違う友達の意見を聞き、他者の価値観にふれ、ものの見方や感じ方、考え方を深めている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>自分なりの理由を考えて、分かりやすく話そうとしている。</li><li>対話や話し合いを楽しんでいる。</li></ul>

### 3 小単元について

・5月教材「わたしのすきなもの」では、話題を決めて話す学習をした。その学習をもとに、7月教材「えにつきをかこう」では、経験したことを絵日記に書き、声のものさしを意識して、発表する学習をした。1学期末より日直のスピーチを始めた。9月教材「きのうこんなことがあったよ」では、経験した出来事を丁寧な言葉遣いで相手に分かるように順序立てで話すことや、感想や質問をすることを学習した。この学習をもとに、あった出来事を伝え合う「あったこトーク」を週始めと週終わりに行い、日常的に友達やグループで話すことを習慣付け、自分の思いや考えを伝えられる力が育つように学習を進めてきた。

本教材「ねえ、どっち？」は、本来12月教材である。この教材は、課題について自分の好きなほうを選び、自分なりの理由を付けて相手に分かりやすく伝える学習である。課題を身近なものや楽しくて好きなものの中から選ばせることにより、興味・関心をもって真剣にじっくり考えていくことができると考えた。また、友達との対話の中で、多様な価値観に触れ、ものの見方や感じ方、考え方を深めることができると考えた。さらに、相手の気持ちを尊重したり肯定的に聞いたりする態度も同時に身につけさせていくことができる。児童は、この教材で、楽しみながら自分の考えに理由を付けて話す力、自分と違う考えに興味・関心をもって友達の考えを聞く力を付けていくことができる。

本校では、10、11月に生活科「あきとともにだちになろう」で、木の葉や木の実を使って遊んだ楽しさを友達と伝え合う学習がある。また、1月には近隣の幼稚園児や保育園児を招いて学級でお店を開く「北っ子まつり」がある。それらの活動で友達と活発に交流を行ったり、話し合いを円滑に行ったりすることができるように、本来12月教材である本教材をこの時期に行うこととした。

#### 4 カリマネ Point (カリマネ的鳥北プラン参照)

縦カリ 〔話すこと・聞くこと〕年間指導計画		1 学期	2 学期	3 学期
	第 1 学年	みづがみづかた、おおしきさせてはまきあきつ くちのねうう（朝）わたしのさきもの（6月） いろいろなえ（7月）	きのうこんなことがあったよ（9月） <u>ねえ、どっち（12月）</u> →※10月に変更（本時）	クイズでおしえます（2月）
	第 2 学年	できたらいいな（5月） 自分の声で（6月）	夏休みの思い出（9月） 電話でつたえよう（12月）	コンテストに出でこまをきめよう（2月）
	第 3 学年	小さなできごと（5月） 声を合わせて楽しく読もう（6月）	よりよいクラスを作ろう（9月） 南の島へようこそ（12月）	昔のことを聞いてきました（2月）
	第 4 学年	こんなこと、ありませんか（5月） 落語じゅげむ（6月）	安全について考えよう（9月） 大きくなったらなりたいもの（11月）	レポーターになろう（2月）
	第 5 学年	おすすめします、この1冊（5月） 狂言しひり（6月）	メディアについて考える（9月） 写真と絵 どちらを選ぶ？（12月）	動物とともに生きるために（2月）
	第 6 学年	このニュース、わたしはこう思う（5月） わたしたちの言葉（6月）	おれにしたいあの人物（9月） どんな国？（12月）	平和な世界を築くために ～パネルディスカッション～（2月）
横カリ 〔第一学年全教科〕	話す力	聞く力		
	・はっきりした発音で話す。 	・相手の言っていることがだいたい分かる。 		
	・相手に言いたいことを伝えようとする。 	・話を最後まで黙って聞く。 		
	・相手に言いたいことが伝えられる。 	・相手の言っていることが分かる。 		
	・相手に分かるように話す。 (適切な声の大きさ、姿勢、内容) 	・話していることが、自分と同じ考え方か違う考え方分かる。 		
	・あつたことを順を追って話せる。 	・話の中で大事なことが分かる。		
	・言いたいことが順を追って話せる。 			
	・身近な事柄について、話題に沿って話し合える。			

#### ◎本単元とのカリキュラムマネジメント

国語科 「ねえ、どっち」	国語科（図書）	「ねえ、どっちがすき？」→読み聞かせ
	行事（運動会）	「105でアララ♪（表現運動）」「エビカニたまいれ」→テーマに使用
	プログラミング	話型の指導

## 5 1年生分科会研究について

本校の研究主題『これからの中社会を生き抜く児童の育成』のために、全ての教科の基礎となる国語科の「話すこと・聞くこと」の力を低学年のうちから育てていくことが必要である。

そこで、1年生分科会では、以下の4つの取り組みをすることにより、「話すこと・聞くこと」の力の基礎が身につくと考え、実践を行った。

### (1) 掲示物の工夫

日常的に話すこと、聞くことを意識させ、その力を伸ばすために、学習したことを一目見て思い出せるような掲示物を作成した。

話す時、聞く時のポイントを分かりやすく示した「はなしかためいじん」「ききかためいじん」と「こえのものさし」を掲示した。さらに、本単元で学習した自分の考えを分かりやすく伝えるための話型の掲示も、国語科の学習だけでなく、他教科の学習においても引き続き活用していく。

### (2) 日常的に取り入れる「あったこトーク」

1年生は、自分を見て欲しい、自分の考えを聞いて欲しい、自分中心の時期である。そのため、自分の話をするだけでなく、友達の話にも耳を傾け、友達にもっと話したい、友達の話を聞きたいという気持ちを育てることが大切だと考えた。そこで、あったこと経験したことを相手に正しく伝えられること、友達や教師の話していることを落とさずに聞き、質問したり感想をもてたりする力を育てることが必要だと考えた。

そのためには、日ごろから話す経験を積み重ねることが大切である。そこで、2学期から週の始めと終わりには、2人組または3人組で、一人1分間ずつあったことや楽しみなことを話す「あったこトーク」を行った。また、日直の時には、学級全員の前で、話す機会をもった。「あったこトーク」では、「いつ」「どこで」「だれと」「なにを」「どうした」「ようす・きもち」の6つのポイントを入れて話すように指導した。はじめは、話すことに苦手意識をもち、前に出るだけで泣いてしまう児童もいたが、「あったこトーク」を重ねるうちに、前で話すことができるようになり、また楽しみにする児童も増えてきた。

### (3) 3人グループの活動

「あったこトーク」を始めるにあたり、最初は隣の児童と2人組で行っていたが、あまり話すことが得意でない児童に配慮し、どの児童も友達の話を聞き、質問をしたりされたりできる機会がもてるように、意図的な3人組を作り活動することにした。

また、話すことが得意でない児童は、話すことを下書きした「あったこトークメモ」を活用したり、話すことが得意な友達と組むことにより、真似したり教えてもらったりして、伝えたいことを話す練習を積めるようにした。

本単元でも、課題について話し合う際には、意図的に組んだ2~3人グループを活用している。

## 6 一単位時間の指導

第1時 (全4時間)

10月 11日 (金) 2校時

(1) ねらい

- ・提示されたテーマに対して自分の好きな方を選び、選んだ理由も考えて伝えることができる。

(2) 展開

		○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料(種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ	① 10分	<p>○教師の読み聞かせを聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくは〇〇がいい。</li> <li>・私は□□の方がいいな。</li> <li>・だって、〇〇の方が～だよ。</li> <li>・□□には、(～な) いいところがあるよ。</li> </ul>	<p>■「ねえ どっちがすき?」 (安江リエ文／降矢奈々絵／福音館)</p> <p>★絵本を見せ、質問形式で児童と対話しながら読んでいく。</p> <p>★読み聞かせをしながら、選んだ理由もつぶやけるように促し、めあてへつなげる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">     めあて りゆうをかんがえて、ともだちに つたえよう。   </div>
取り組む	② 15分	<p>○「105でアララ♪(運動会表現ダンス)」と「エビカニ玉入れ」では、どちらがよいかを選び、理由も含めワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは、「105でアララ♪」がよいです。なぜならたくさん練習をしてうまく踊れるようになったからです。</li> <li>・ぼくは、「エビカニ玉入れ」がよいです。理由は、踊りもできて、玉をかごに入れることもできるからです。</li> </ul>	<p>■理由を言うときの言い方を考えさせ、手本となる形を掲示物で示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">     なぜなら、 りゆうは、 どうしてかというと、   </div> <p>★手本に合わせて、答えと理由を書けるワークシートを用意する。</p> <p>★困っている児童には、教師が問い合わせ、一緒に考える。</p>
まとめる	③ 15分	<p>○ワークシートをもとに小グループ(2~3人)ごとに順番に発表していき、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;">     話し手: 原稿を見ないで発表する。      (難しい場合は、見てもよい。)      ↓      聞き手: 質問や感想を言う。      話し手: 質問に答える。   </div> <p>○学級全体で「いいね」と思った意見や良い聞き方を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エビカニは、おどったり投げたりするから。</li> <li>・アララは、毎日練習をしたから。</li> <li>・頷きながら聞いてくれた。</li> <li>・目を見て聞いてくれた。</li> </ul>	<p>★話し合いを始める前によい反応の仕方にについて押さえる。</p> <p>→友達の意見を聞いて、否定的な意見、態度は嫌な気持ちになることを確認する。</p> <p>★良い聞き方ができている児童(傾きながら、目を見て、「いいね!」と反応)を見つけておき、紹介できるようにしておく。</p> <p>★次時につながるように、分かりやすく理由を言っている児童や2つ理由を伝えている児童を見つけておく。</p> <p>◎自分なりの理由を考えて、友達に伝えている。</p>
	④ 5分	<p>○学習の振り返りを書き、交流する。</p> <p>○次時は、違うテーマで、相手が分かりやすい理由を考えて話すことを知る。</p>	<p>★ワークシートに◎○△マークを記入し、文章で表現できる児童には、振り返りを簡単な言葉で書かせる。</p>

## 第2時 (全4時間)

10月 15日 (火) 4校時

## (1) ねらい

- ・提示されたテーマに対して好きな理由を明らかにして、分かりやすく伝えることができる。

## (2) 展開

	○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料(種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ 1 5分	<p>○前時を振り返り、本時のテーマを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前は、「アララと玉入れ」の好きな理由を言ったよ。</li> <li>・「なぜなら～からです。」と伝えたよ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">     めあて りゅうをかんがえて、ともだちに <u>わかりやすく</u> つたえよう。   </div>	<p>★前時のワークシートで、分かりやすい理由が書かれたものを紹介する。</p> <p>■「理由の言い方」掲示</p>
取り組む 2 15分	<p>○理由が2つあるときの伝え方を知る。</p>	<p>★「分かりやすく」とは、理由を2つ以上伝えることやその選択肢にしかない良さを伝えることが良いと前時を例に具体的に紹介する。</p> <p>■理由を2つ言う時の言い方を掲示物で示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">     りゅうは、2つあります。      1つめは、～からです。      2つめは、～からです。   </div>
取り組む 3 20分	<p>○「どこでもドア」と「タケコプター」では、どちらが欲しいか選び、理由も含めワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは、どこでもドアが欲しいです。理由は2つあります。1つ目は～からです。2つ目は～からです。</li> </ul>	<p>■「どこでもドア」と「タケコプター」の絵を提示する。</p> <p>★書ける児童には、理由は1つだけでなく、2つ、3つ考えて書くように話す。</p>
まとめる 4 5分	<p>○ワークシートをもとに小グループ(2~3人)ごとに順番に発表していき、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;">     話し手：原稿を見ないで発表する。      (難しい場合は、見てもよい。)      ↓      聞き手：質問や感想を言う。      話し手：質問に答える。   </div> <p>○学級全体で「いいね」と思った意見や良い聞き方を発表する。</p>	<p>★良い聞き方ができている児童(頷きながら、目を見て、「いいね！」と反応)を見つけておき、紹介できるようにしておく。</p> <p>★分かりやすく理由を言っている児童や複数の理由を伝えている児童を見つけておく。</p> <p>◎自分なりの理由を、分かりやすく友達に伝えている。</p>

## (1) ねらい

- ・これまでの学習を生かして、自分で選択問題を作る。

## (2) 展開

	○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料（種類） ◎評価規準【観点】（評価方法）
つかむ 5分	<p>○前時を振り返る。今まで学習してきた2択の選択肢を思い出し、どんな問題が適切であるか、考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きな物で作ろう。</li> <li>・みんなが知っているものじゃないと、楽しくないよ。</li> <li>・どっちがいいか悩むような問題が、おもしろかったね。</li> <li>・わたしは、△△と○○の問題を作ろう。</li> </ul>	<p>★友達が選択を迷うような問題や、楽しく選べるような問題を考える。「りんごと象」のように、カテゴリーの違う物の比較にならないようにする。</p>
取り組む 10分	<p>○ワークシートを用いて、問題を作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content;">           ①もんだいをつくる。            ②ともだちにかくにんしてもらう。            ③えをかく。         </div>	<p>★1人で問題を作れない児童は、同じカテゴリーの絵が描いてあるヒントカードを活用し、選択肢となる言葉を選んで書けるようにする。</p> <p>★グループ全員の問題ができるように、友達の問題作りのお助けをし、全員が作り終えたら絵を書き入れさせる。</p> <p>◎友達が楽しく答えられるような問題を作っている。</p>
	<p>○小グループ（2～3人）ごとに順番に発表していく、話し合う。</p>	<p>★「りゅうのいいかた」「よいききかた」の掲示を確認する。</p> <p>★一人理由を話したら、聞いた人は反応を返したらよいことを確認する。（頷きながら、目を見て、「いいね！」と反応、質問等）</p>
まとめる 10分	<p>○学習の振り返りを書き、交流する。</p> <p>○次時は、グループや全体で問題を発表したり、それに答えたりすることを知る。</p>	<p>★ワークシートに○○△マークを記入し、文章で表現できる児童には、振り返りを簡単な言葉で書かせる。</p> <p>★次回は、他の友達に問題を出したり、問題に答えたりすることを楽しみにするような投げかけをする。</p>

## 第4時 (全4時間 本時)

10月18日(金) 5校時

## (1) ねらい

・話す・聞くのポイントを意識しながら、自分たちで作った選択問題を出し合い、交流する。

## (2) 展開

	○学習活動 ・児童の反応	★指導上の留意点 ■資料(種類) ◎評価規準【観点】(評価方法)
つかむ 5分	<p>○前時までの学習を振り返る。本時の見通しをもつ。        ・自分で「ねえ、どっち？」問題を作った。        ・作った問題を別のグループの友達と出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>めあて</b> ともだちのもんだいに わかりやすく こたえよう。</p> </div>	<p>★「りゆうのいいかた」「よいききかた」の掲示を確認する。        ★前時までに学習した、分かりやすい発表方法を想起させ、心がけさせる。</p>
取り組む 25分	<p>○話し方、聞き方について、確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>◎もんだい □と□、どっちが○○ですか？</p> <p>◎こたえ (ぼく・わたし)は、□が○○です。 なぜなら、～からです。</p> </div> <p>○前時に作った問題をグループで出し合う。        順番に問題を出し、問題に対して、理由を付けて自分の考えを答えていく。</p>	<p>★「わかりやすく」とは、理由をつけて話すことが大切であることを確認する。</p> <p>★良い聞き方(傾きながら、目を見て、「いいね！」と反応、質問等)の確認をする。</p> <p>◎自分なりの理由を、友達に伝えていたり、友達の話を良い聞き方で聞いたりしている。</p> <p>★グループ全員の発表が終わったら、新しい3人グループを作るために、席を移動させる。</p>
まとめる 5分	<p>○全体の場で、良い問題を発表させ、共有する。        また、その問題に対する意見も発表させる。</p>	<p>★良い聞き方ができている児童を見つけておき、紹介できるようにしておく。</p> <p>★分かりやすく理由を言っている児童や複数の理由を伝えている児童を見つけておく。</p>
まとめる 10分	<p>○学習の振り返りを書き、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理由を2つ言えたよ。</li> <li>・理由を考えて答えることが難しかった。</li> <li>・相手を見て答えられたよ。</li> <li>・自分の答えと同じ友達がいて、嬉しかった。</li> </ul>	<p>★ワークシートに◎○△マークを記入し、文章で表現できる児童には、振り返りを簡単な言葉で書かせる。</p> <p>★分かりやすく伝えるために必要なことを振り返り、他の学習の場面でも生かせるようにする。</p>

ワークシート

第1時

「ねえ、どつち？」①

めあて  
りゅうを かんがえて ともだちに つたえよう。

105  
でアララ



エビカニたまいれ



★ふりかえり

からです。

（ぼく・わたし）は、  
ほうが、  
すきです。

の  
①

どつちがすき？



どこでもドア

「ねえ、どつち？」②

めあて  
りゅうを かんがえて ともだちに つたえよう。

タケコプター



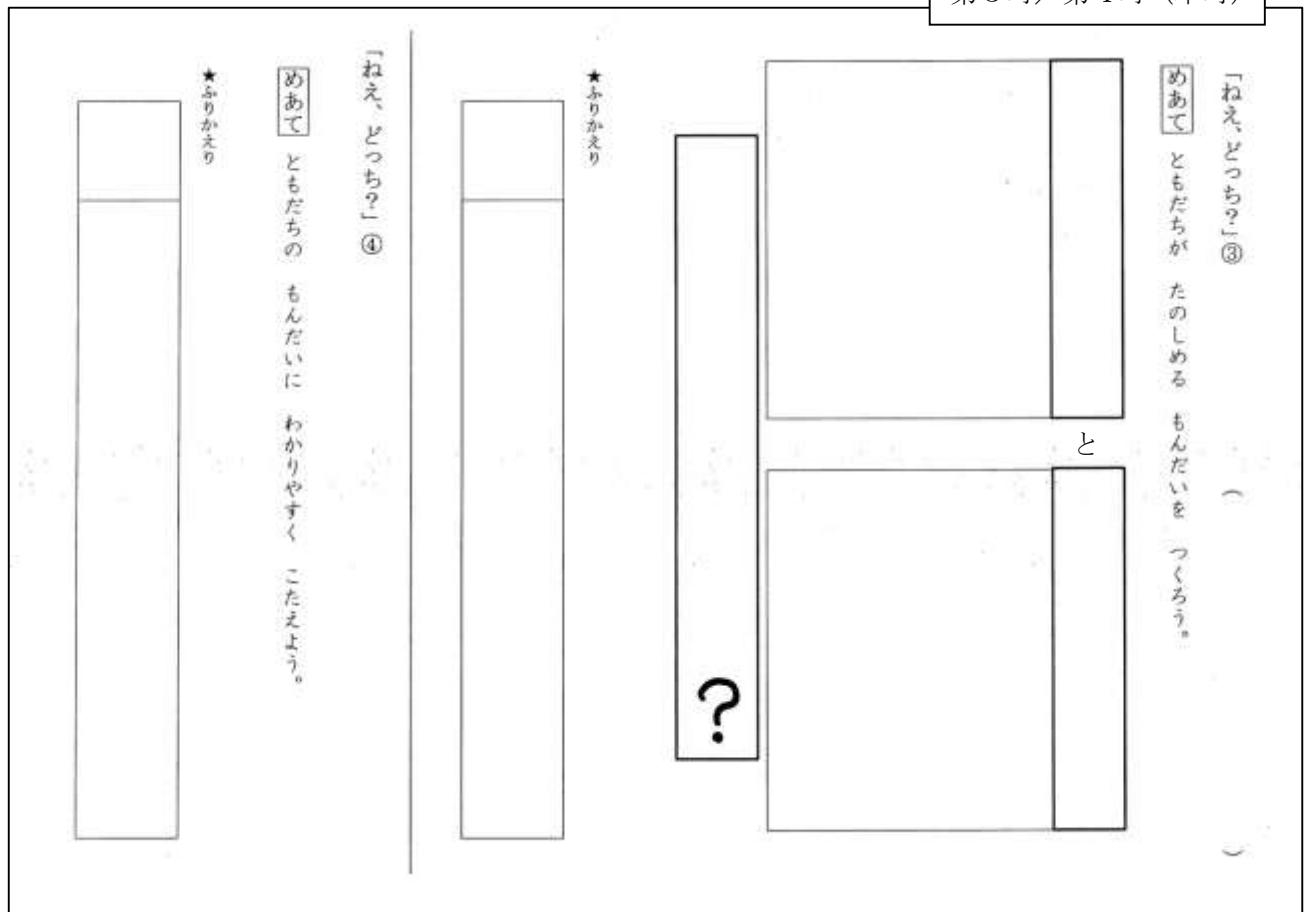
★ふりかえり

（の  
②  
が、ほ  
し  
い  
で  
す。）  
は、  
①

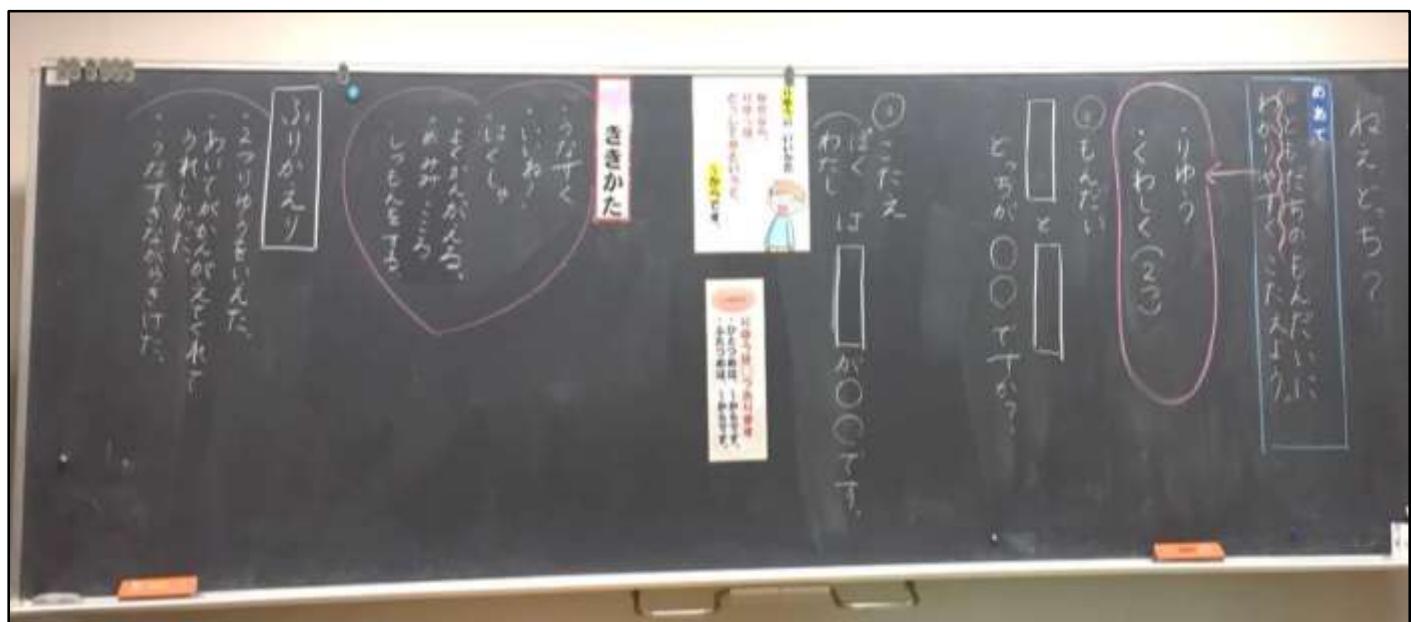
どつちがほ  
し  
い？

ワークシート

第3時／第4時（本時）



板書計画（本時）



はなしかためいじん

ゆつくりと。  
ぴつたりごえで、  
まえみて、ぴん。



2019.10.17

はなしかためいじん  
ききかためいじん

さいごまで  
ひこうで  
みみ  
め  
よくも「う」



2019.10.17

ききかためいじん

どうした  
なにを  
どこで  
だれと  
いつ  
いつ  
あつたこトーグ  
こうす・きもち



2019.10.17

こえのものさし

クラス

グループ

ペア

かわいい

かわいい

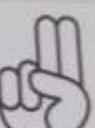
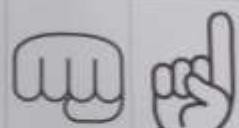
かわいい

0

こえのものさし

いいね!  
おなじです。

ハンドサイン



いのん  
意見  
かんが  
考  
え

しつもん  
質問  
かんが  
考  
え

おたすけ

つけだし

ハンドサイン

話す聞くに関する掲示

はい、  
(たつ)



はっぴょうのしかた

すわるときのじゅもん

びん!



すわるときのじゅもん

りゅうのいいかた

なぜなら、  
りゅうは、  
どうしてかというと、

からです。



りゅうのいいかた



はっぴょうのしかた

りゅうは□つあります  
・ひとつめは、からです。  
・ふたつめは、からです。

レモンクレープ

